

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災や地震、水害等の避難訓練に、昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけられていない。 地域との協力体制を構築する。	火災や地震、水害等に備え全職員が避難方法や誘導について周知共有できるようにする。 地域住民や消防団との連携や他の介護保険施設等や行政と避難場所の確保等に関し協力をお願いする。	隔月1回・夜間年1回は避難場所へ避難訓練を実施する。 消化器等の取り扱いについての訓練を年1回は行う。 年1回は避難訓練時に地元消防団や消防署職員の立ち合いをお願いし避難に関するアドバイスをもらう。 ご家族に災害時の身元引受や希望受け入れ先など確認をしておく。	12ヶ月
2	48	張り合いや喜びのある日々過ごせるように、今以上に一人一人の生活歴や力を生かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換の支援を行っていく。	一人一人の出来る事や楽しみを見つける。	担当制により、より細かな生活歴や必要支援をご本人やご家族より聞き取る。 ご本人にしたい事、やりたい事を更に聞き取りし、様々な場面で全職員が気付きを持てるよう意識しケアに取り組む。	12ヶ月
3	34	急変時や事故発生時に備え、全職員で応急手当や初期対応に関する訓練を取組めていない。	急変時や事故発生時に備え、全職員で応急手当や初期対応に関する訓練を実施する。	AEDの使用方法について年2回は使用方法についての訓練を行う。 誤嚥時の対処法や転倒時の対応等に関し年2回は全職員で訓練を行う。 マニュアルの見直し再作成を訓練を通じ都度行う。	12ヶ月
4	40	食事を楽しむことの支援に関し、利用者の嗜好や力を活かした支援に取り組めていない時がある。	食事を楽しむことの支援に関し、利用者の嗜好や出来る事を再確認し、利用者職員と一緒に準備等に取り組めるようにする。	利用者の食べたい物の聞き取り際し、食事のバランスも考えてメニューを選択してもらう。 食べたい物を決めてもらい食材の買い出しを行う際は、固定の人に偏らずに外出支援を行う。 生活歴の聞き取りをし、今まで利用されていた馴染のスーパーなども利用していく。	3ヶ月
5	1	理念の共有と実践に際し、全職員で理念を考え実践できるようにする。	理念の共有と実践に際し、全職員で理念を考え実践できるようにする。	カンファレンスを行う際に理念やグループホームにしか出来ない支援などを全職員で考え、共有しチームケアの実践を行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。